

「特定失踪者問題調査会」県内調査

特定失踪者の
長女現地調査

高崎で民間団体

行方不明者のうち北朝鮮に拉致された可能性を排除できないとされる「特定失踪者」の1人、旧群馬町北原(現高崎市北原町)の加藤八重子さん(74)の現地調査が24日あった。民間団体「特定失踪者問題調査会」(荒木和博代表)が長女の松



調査に応じる加藤八重子さんの長女、松岡尚美さん(中央)＝前橋市大友町で

岡尚美さん(47)から聞き取り調査。松岡さんによると、加藤さんは38歳だった1978年9月22日、自宅から姿を消した。その夜も結婚記念日に夫にプレゼントするためセーターを編んでいた。着ていたパジャマ以外になくなった物はなかったという。

現地調査では北朝鮮向け短波放送「しおかげ」の収録もあり、松岡さんは「一日たりともお母さんを忘れたこととはありません。またお母さんの笑顔を見たいです。共に笑って、語り合って37年分を取り戻したいです」と訴えた。8月8～10日に放送される。

【山本有紀】